

懐かしの「立ち島」登場

休眠客の掘り起こし策に活用

ピーアークホールディングスの新店「ピーアークピーくんプラザ」(東京都足立区)は、日進のユニット「プライベート2」を導入した。ホールのニーズに合わせた自由度の高い島づくりで、オーダーメイドも可能だ。今回の新店では、特注で設けた「立ち島」コーナーが必見だ。

日進

単体ユニット島
「プライベート2」
立ち島ver.

導入レポート



1000個定量製の「立ち島」コーナー

昨年12月27日にグラントオープンした「ピーアークピーくんプラザ」は、手打ち時代を思わせる椅子のない立ち島コーナーを設けた。「立ち島」のアイデアは同社内で10年以上前から何度も検討していたが、今回、年配層が多い地域で、休眠客の掘り起こし策のひとつとして実現した。

設置されている機種は羽モノや甘デジ。「立ち島」は気軽に遊べる、いわば『遊びの自動販売機』のイメージ。昔を知っている人にはノスタルジーをご提供できるのではないかと、隣のドトールコーヒーには、店内をちょっとと覗いて「少しだけ遊んでみようかと」試して下さることを期待し、日進さんに特注で作ってもらいました(経営企画部の湯浅晃ディレクター)

初めてパチンコを遊技する新規ユーザーにも配慮できる。同店のスタッフは「立ち島だと、お客様とスタッフが同じ目線になって説明できる。新たな接点ができそうです」と、接客面での印象アップにも貢献できると話す。

島・補給システムを販売する日進の「プライベート2」は、パチンコからパチスロへの変更が容易にできる小型研磨機を搭載した単体ユニット島。今回の立ち島や連続曲線を用いたアール島、ちよつとした隙間のスペースを活用し小台数増設も可能だ。ホールニーズに応える自由度の高い島作りに貢献しそ